

事務局（野呂課長） 本日はご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。
会議に先立ち、事務局から報告いたします。

本日は松田会長が欠席となっておりますので、松永副会長が会議の進行を行うこととなりますので、よろしくお願いいたします。

それではただ今から、平成30年度第2回函館市戸井地域審議会を開催します。

本日の会議は、地域審議会の設置に関する規程第8条第5項の規程により公開としております。

続きまして、会議次第では会長挨拶となっておりますが欠席でございますので、松永副会長からご挨拶を申し上げます。

松永副会長 皆さん、こんにちは。

先ほど報告がございましたが、松田会長が本日は欠席となっておりますので、私から平成30年度第2回函館市戸井地域審議会の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は大変お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の議題は、ご案内のとおり平成31年度地域別事業計画（案）、地域振興に関する意見交換のほか、その他において環境部からの報告事項となっております。

皆様方のご協力により、会議をスムーズに進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、企画部や環境部、支所の各課長にもご出席をいただいておりますので、説明の際にはどうぞよろしくお願いいたします。

以上、開会にあたりましてのご挨拶といたします。

よろしくお願いいたします。

事務局（野呂課長） ありがとうございます。

続きまして、高橋支所長からご挨拶を申し上げます。

高橋支所長 皆様、こんにちは。

平成30年度第2回戸井地域審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から地域振興をはじめ、市政運営各般にわたりまして、ご理解とご協力をいただき心からお礼申し上げます。

今年は全国的に大きな災害が続いており、北海道におきましても先月6日、北海道胆振東部地震が発生し、多くの被害が発生しました。

幸いにも戸井地域におきましては、被害は無かったのですが、今年は台風の上陸も多く、気象警報の発令も多くなっています。今回の停電の災害を受けまして、災害は突然やってくるもので、日頃からの準備の大切さなどについて、改めて実感したのではないのでしょうか。

今後におきましても、日頃からの備えを万全にさせていただきますようお願い申し上げます。

さて、皆様の地域審議会委員としての任期は、本年11月末までとなっており、本日が今任期中最後の会議となります。

会長、副会長をはじめ委員の皆様におかれましては、これまで地域振興に係る数々のご意見、ご提言をいただき、改めてお礼を申し上げますとともに、今後におきましても、引き続き戸井地域の振興発展のために、お力添えと、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（野呂課長） ありがとうございました。

続きまして、本日出席しております企画部および環境部の職員を紹介します。

企画部計画推進室計画調整課、坂田主査です。

坂田主査 坂田です。よろしくお願いいたします。

事務局（野呂課長） 同じく上田主任主事でございます。

上田主任主事 上田です。よろしくお願いいたします。

事務局（野呂課長） 環境部埋立処分場、山中処分場長です。

山中処分場長 山中でございます。よろしくどうぞお願いいたします。

事務局（野呂課長） 続きまして、本日出席委員の報告を申し上げます。

委員15名中、本日は松田会長、杉野委員、島本委員、南坪委員が欠席しておりますので、出席委員は11名でございます。

続きまして、本日の会議資料について確認いたします。

資料は事前に送付しておりました、会議次第と平成31年度事業計画書（案）、そのほかに、本日机上に配付しております、座席表と前回第1回の地域審議会会議録、議題のその他で説明いたします恵山・南茅部クリーンセンターの受入日の見直しについてでございますのでご確認をお願いいたします。

皆様お手元にありますでしょうか。

（はいの声）

それではこれより議題に入りますが、議事の進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項により会長が議長を務めることになっておりますが、本日は欠席でございますので、第7条第4項の定めにより、副会長がその職務を代理するとなっておりますので、以後、松永副会長に議長をお願いいたします。

松永副会長 地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の過半数以上の出席要件を満たしておりますので、直ちに会議を始めます。

お手元の会議次第に沿い、進めて参りたいと思います。

本日は議題3，その他において，環境部からの説明を予定しております。
それでは，議題1平成31年度地域別事業計画（案）について，説明をお願いいたします。

（野呂地域振興課長挙手）

松永副会長 野呂地域振興課長

野呂地域振興課長 地域振興課長の野呂でございます。

「平成31年度 地域別事業計画書（案）」についてご説明いたします。

資料1となります。表紙裏をご覧ください。

この資料は，合併建設計画などをもとに，戸井支所および企画部が平成31年度に想定される事業を掲載したものであり，予算要求の有無などは現時点で確定しているものではありません。

皆様の意見等をお聞きしたうえで，必要性や緊急度，また費用対効果などについて十分考慮し，担当部局とも協議しながら，今後，予算要求作業を進めてまいります。

1ページをお開きください。

資料の左欄「主な事業」につきましては，合併建設計画の基本目標に係る主要施策を項目別に列記しております。

真ん中の欄は，全地域を対象とする事業等を掲載しております。

右欄につきましては，戸井地域に関する事業等を掲載しており，本日は，この戸井地域に関する事業等につきまして，産業建設課長，地域振興課長，市民福祉課長，教育事務所長の順に説明いたしますので，よろしくをお願いいたします。

（吉村産業建設課長挙手）

松永副会長 吉村産業建設課長

吉村産業建設課長 産業建設課長の吉村です。

私の方からは，産業建設課所管事業につきまして，ご説明いたします。

1ページをご覧ください。

1番目の「多様で力強い産業を振興するまちづくり」（2）「水産業の振興」の「漁港の整備」であります。北海道が事業主体となりまして，水産物供給基盤機能保全事業により釜谷漁港と小安漁港の浚渫工事を予定しており，漁港整備事業では，釜谷漁港の岸壁などの整備を予定しております。

次に，「漁場の造成」であります。これも北海道が事業主体となりまして，「水産環境整備事業」により，小安地区にウニ礁の設置を予定しております。

次に，「ウニ・アワビ種苗等放流」であります。戸井漁協が事業主体でウニ深浅移殖放流事業，アワビ種苗放流事業を，市の事業になりますが，戸井ウニ種苗センターにおきまして，ウニ種苗生産供給事業を予定しております。

次に，水産業の振興の1番下段にあります「その他関連事業の推進」の「水産多面的機能発揮対策事業」は，国の交付金事業になりますが，戸井漁協に事務局があります「戸

井の海を豊かにする会」が事業主体となりまして、漁場の岩盤清掃、コンブの母藻設置などの藻場の保全事業を予定しております。

次に、「(3) 農林業の振興」の「市有林等の整備」であります。場所は選定中ですが、戸井地域内の市有林の整備を予定しております。

以上で、産業建設課所管の事業説明を終わります。

(野呂地域振興課長挙手)

松永副会長 野呂地域振興課長

野呂地域振興課長 地域振興課長の野呂です。

引き続き、地域振興課および他部局所管事業について説明します。

3 ページの「2 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」の下段にあります「(3) 交通・情報ネットワークの形成」の「その他関連事業の推進」です。

地域内交通確保対策事業としまして、地域福祉バスと教育委員会所管のスクールバスの運行について掲載しております。

地域福祉バスは、主に学校関係行事やふれあい学園などの地域の行事等の送迎に使用されており、スクールバスにつきましては、2 台で運行し、幼稚園、小中学校の送迎のほか、学校行事などに使用されております。現在は共に函館バスに委託し運行されております。

4 ページをお開きください。「(5) 生活環境の整備充実」の2 段目、「下水道の整備」で特定環境保全公共下水道整備事業です。これは企業局の事業となり、内容につきましては、公共下水道への新規接続に関する公共枿の整備となっております。

私からは以上です。

(黒田市民福祉課長挙手)

松永副会長 黒田市民福祉課長

黒田市民福祉課長 市民福祉課長の黒田でございます。

私からは、市民福祉課所管の事業についてご説明いたします。

5 ページをお開きください。

「(3) 高齢者福祉の推進」の上から7 行目「その他関連事業の推進」のうち、右の欄に移りまして、「高齢者等在宅生活支援事業（東部地区外出支援サービス）」、さらにその右の欄の「高齢者等送迎サービス事業」といたしまして、戸井地域で行います「戸井地区外出支援サービス事業」について説明します。

これは、戸井地区に居住する一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯、心身障がい者世帯の方で、歩行困難な方などを対象に、自宅から戸井地区および旧函館市内の医療機関まで移送するサービスでございます。

今年度は8 4 人の方が登録しております。

私からは以上です。

(佐藤教育事務所長挙手)

松永副会長 佐藤教育事務所長

佐藤教育事務所長 戸井教育事務所長の佐藤でございます。

戸井教育事務所で所管します事業計画につきまして、ご説明させていただきます。

5ページの下段「4いきいきと学び地域文化を育むまちづくり」の「(1)生涯学習の推進」「その他関連事業の推進」としまして、道南駅伝競走大会を開催します実行委員会への負担金を予定しております。

次に、6ページ「5連携と交流によるまちづくり」「(2)国際交流・地域間連携の推進」「その他関連事業の推進」では、青森県大間町との地域間交流事業としまして、文化祭の相互参加を予定しております。

以上でございます。

松永副会長 以上で、説明が終わりました。

ご質問等ございませんか。ご発言いたします方はご起立のうえお願いいたします。

何かご質問はありませんか。

(なしの声)

無いようでございますので、議題の2番目、地域振興に関する意見交換とさせていただきます。

皆さん、地域においてプラスとなるような提言など、フリートークでも構いませんので、ご意見等がありましたらご発言をお願いいたします。

植野委員 浜町の熊別川国道にある浜中橋から下流はきれいに清掃していただきましたが、この橋の上流側に雑木が生い茂っている状況となっています。

この上流には、土砂災害警戒区域があり豪雨があった場合、土砂崩れがあった場合には、川に土砂や流木が流れてきた時に中州に生い茂っている雑木等の影響により、河川の氾濫や浜中橋の崩壊等が危惧されることから、早めにこれらの雑木等を除去していただくよう要望します。

吉村産業課長 熊別川につきましては、今年の2月くらいに植野委員が言いましたとおり浚渫工事を行い相当きれいになったと認識しております。

北海道からは、時期は何時になるかわからないですが、今年度実施するというのを伺っておりますので、北海道に要望があったことを伝えたいと思います。

よろしくをお願いいたします。

松永副会長 よろしいですか。

植野委員 はい。解りました。

よろしくをお願いいたします。

松永副会長 あとございませんか。

無いようでございますので、議題の3番目その他でございます。

恵山、南茅部クリーンセンターの受入日の見直しについて、環境部山中埋立処分場長から説明をお願いします。

山中処分場長 環境部埋立処分場長の山中でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

私からは、来年4月からの恵山クリーンセンター、南茅部クリーンセンターのゴミの受入日の変更について、資料に基づいてご説明させていただきます。

恵山クリーンセンターおよび南茅部クリーンセンターの現在の自己搬入ゴミの受入状況ですが、恵山クリーンセンターにおいては、月曜日、水曜日、金曜日と第2日曜日、また、南茅部クリーンセンターは、火曜日、木曜日、土曜日と第3日曜日に自己搬入の不燃ゴミ、粗大ゴミを受け入れているところでございます。

資料の各クリーンセンターの受入状況でございますが、恵山クリーンセンターで説明いたしますと、平成28年度は155日開場し、1件も搬入が無かった日が11日、29年度は153日開場し、搬入が無かった日が14日となっております。

ゴミの搬入量でございますけれども、28年度1,027件、1日あたりの搬入量は1.07トン、29年度は633件、1日あたり0.63トンとなっております。

30年度の9月末までの実績も載せてございますけれども、例年冬場は搬入件数、搬入量ともに大幅に少なくなりますので、30年度におきましても同じような傾向になるのではないかと考えております。

現在、28年度から30年度までの3か年で両施設を委託しておりますけれども、このような状況から、来年4月から新たな委託契約となりますが、それぞれの自己搬入ゴミの受入につきましても、恵山クリーンセンターが月曜日、金曜日、第2日曜日、南茅部クリーンセンターが、火曜日、土曜日、第3日曜日に変更したいと考えております。

今後、12月議会で委託に係る債務負担行為の議決を得た後に業者選定をし、4月から新たに受入業務を開始したいと考えております。

以上でございます。

松永副会長 説明が終わりましたので、何かご発言ございますか。

(ありませんの声)

松永副会長 無いようでございますので、事務局から何かございますか。

事務局（泊澤主査） 皆様のお手元に、前回平成30年度第1回の地域審議会会議録を配付しておりますので、後程ご覧いただきたいと思ひます。

以上です。

松永副会長 以上で本日の日程は、全て終了いたしました。

先ほど、支所長の挨拶にもございましたとおり、本日の会議が現在の委員の皆様方で

行われる最後の会議でございます。

皆様方のご協力によりまして、この間の会議につきましては円滑に運営出来たものと考えております。

この場をお借りしまして、委員の皆様にお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

それでは、本日の会議を終了させていただきます。

皆様、本当にご苦勞様でございました。

会議顛末を記載し相違ないことを証するために、ここに署名する。

会 長

副会長